

イベルメクチン

<開発・経過>

日本の大村智先生(2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞)が伊東市内の川奈ゴルフ場の土から発見。マクロライド系薬剤。放線菌が生成するアベルメクチンの化学誘導体。

最初の用途は、**フィラリアとアカリア症の動物用医薬品**だった。1987年にヒトへの使用が承認され、現在ではアタマジラミ、疥癬(2006年認可)、河川盲明症(オンコセルカ症)、腸管糞線虫症、鞭虫症、回虫症、リンパ系フィラリア症などの寄生虫の治療に使用されている。

<作用機序と感染予防の為の飲み方>

コロナウイルスの侵入と増殖抑制

- ・1回服用で、ウイルスは1/5000に低下

1日1回食後に服用

- ・**脂質と服用すると、吸収が2.6倍と効果的**
- ・**感染早期**ほど、効果が高い(インフルエンザウイルスの薬と同じ)
- ・**感染後期の肺炎?**は、免疫異常による肺梗塞性で、効果が低下。
- ・**感染予防効果(80%以上)**。
以前は**2~3週に1回服用**でしたが、感染者数増加中は**週1回**。介護・医療関係者は週2回。
- ・**濃厚接触**になった時、咽頭痛・微熱があるとき、大人数の会議前に、12mg(1錠)追加を推奨。

<副作用>

軟便傾向が若干ある。

ワーファリン服用者の場合増強効果の可能性はある。

<正規品とジェネリック>

正規品(ストロメクトール)は3mg錠が約670円。しかも出荷調節中。

通常12mg服用するので、約2670円/回と高額。

ジェネリック品(イベルメクトールなど)は12mg錠で110円~190円と格安で、成分もほぼ同じ。個人輸入でのみ入手可能。

海外輸出品

＜注意点＞

- ・国内正規品ではないので、個人の責任で判断して購入してください。
- ・他人への販売や、譲渡は違法になることがあります。
- ・妊娠中は禁忌です。
- ・ワーファリン服用中の方、腎不全、肝不全の方は、ワーファリンの減量が必要な場合があります。
- ・予防効果は、80%以上ですが、100%ではありません。
- ・薬剤過敏(薬疹)が出る場合があります。
実際1例いました。
- ・便が柔らかい、腸ガスがでる、のぼせが出る場合があります。

成分分析結果：正規品と遜色なし

